

REPORT 2021

—2021年度上半期—

[2021.4.1～2021.9.30]

桜・名城 100選のまち



地域のために 地域とともに
津山信用金庫

津山市東新町屋外看板

作州地域の活性化応援信用金庫



津山信用金庫

2021年度上半期の地域経済活性化への取り組み&トピックス

TSUSHIN ACTION

2021年度これまでの主なあゆみ

- 4月
 - 2021 年度入庫式開催
 - 本部組織変更による新部署の設置 (旧地域創生部を営業推進部と地域創生部に分離)
 - DX 化を図るためにコミュニケーションアプリ「しんぎん direct」を導入
 - 津山市ワーク・ライフ・バランス推進企業に認定 (2 回目)
 - 津山信用金庫 YouTube チャンネルを開設
 - つしんビジネスクラブ会員向け事業承継オンラインセミナー開催 (講師: 湯澤 剛 氏)
 - 岡山県プロフェッショナル人材戦略拠点との金融機関連携プロジェクトに参画
- 5月
 - 勝山支店を新築・移転オープン
 - つしんビジネスクラブ会員向け事業承継オンラインセミナー開催 (講師: 奥村 聡 氏)
 - 新型コロナウイルス感染症に係る休日相談会開催
- 6月
 - タッチレス ATM 導入 (本店、北・一宮支店)
 - サマーキャンペーン実施 (8 月末まで)
 - 岡山県立津山商業高等学校の校内企業説明会に参加
 - 「信用金庫の日」(6 月 15 日) の取り組み実施
 - 第 95 期通常総代会開催
 - 三井住友海上火災保険(株)と SDGs 推進に関する協定を締結
 - 岡山県立津山高等学校 SS II クラスにて地域創生に係る講義を実施
 - つしん福祉人材養成奨学金授与式開催
 - 公益財団法人岡山県環境保全事業団より「中小企業 3R 推進アドバイザー」を新たに 2 名が受嘱 (計 3 名)
- 7月
 - 西支店に昼休業を導入
 - 三井住友海上火災保険(株)と SDGs 包括連携協定記念セミナー開催
 - 北・一宮支店をリニューアルオープン
 - SDGs・脱炭素セミナー (主催: 野村證券(株)、共催: 環境省中国四国地方環境事務所など) に講師として参加
- 9月
 - 創業塾開講 (共催: つやま産業支援センター、日本政策金融公庫津山支店、三井住友海上火災保険(株)、当金庫後援: 岡山県信用保証協会津山支所、信金中央金庫岡山支店)
 - つしんビジネスクラブ会員向けオンラインセミナー開催 (講師: 池上 彰 氏)
 - 世界アルツハイマーデーの啓発活動に参加
 - 介護保険 (アフラック生命保険(株)) 取扱い開始
- 10月
 - 2022 年度採用内定式開催
 - 第 8 期つしん未来塾開講

津山しんわ
文化財団

10月29日～11月7日
第33回しんわ美術展 協賛

補助金の
取り組み

2021年度の補助金の取り組み(～10月)
申請件数…33件 採択件数…16件

地域のお客さまのために

● つしん日和の発行



作州地域に本店を有する唯一の金融機関として、当金庫では、お客さま情報を中心にオリジナル広報誌「つしん日和」を毎月発行しております。

- 当金庫の取り組み紹介
- 地域の企業紹介
- お役立ち情報、当金庫の新商品およびイベント等の紹介
- その他地域情報 などを掲載しております。

● つしん福祉人材養成奨学金

2010 年度より学校法人美作学園 美作大学生活科学部社会福祉学科および美作大学短期大学部専攻科介護福祉専攻において福祉を学び、卒業後も未長く作州地域で活躍していただける学生に対し、毎年奨学金を授与しております。今回で 12 回目となり累計 58 名の学生へ授与しました。



当金庫のビジョンは、「持続可能な作州地域の実現」です!!

作州地域のために

● つしん景況レポートの発刊

作州地域内約 240 企業の経営者のご協力のもと、作州地域の景況感を経営者の皆さま方と共有し、皆さま方の良きパートナーとして、地域産業の繁栄に努めてまいります。



協定締結時の様子

● 三井住友海上火災保険(株)とSDGs 推進に関する協定を締結

三井住友海上火災保険(株)と、作州地域の持続的発展に向けたSDGs推進に関する包括連携協定を締結しました。

SDGsに関するセミナーの開催や創業を検討されている方、創業後間もない方、新事業分野進出や事業転換等へ挑戦する、いわゆる「第二創業」を検討している方などを対象とした「創業塾」の共催や個別企業支援で連携してまいります。

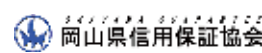
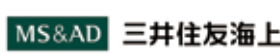
● 「創業塾」開講

持続可能な作州地域の実現のため、創業者および第二創業者を地域内連携等によりサポートする「創業塾」を開講しました。

創業塾では、創業や第二創業に必要な知識の習得、具体的なビジネス展開、各種計画書の作成ができるように当金庫や日本政策金融公庫、三井住友海上火災保険(株)などが講師となり、講義を行います。創業塾期間中はもちろん、創業塾終了後も連携機関がそれぞれの強みを活かして、個別相談会や各種サポートメニューの活用提案を行うことで、事業計画書作成、補助金申請支援、販路開拓、商品開発などを切れ目なくサポートしてまいります。



発足記者発表会の様子



事業先のために

● つしんビジネスクラブ

地域企業の皆さまに、講演会の開催やビジネスレポート等による「学び」の提供と交流会等の開催により、会員同士はもちろん新たな方との「出会い」の場を提供する事をコンセプトとしたお客さま組織「つしんビジネスクラブ」を立ち上げています。今年度は、コロナ禍でつしんビジネスクラブの活動が制限される中、会員企業さまに役立つ情報を提供するために「つしんビジネスクラブ会員様応援企画」を実施しています。

第1弾：著名人に学ぶ事業承継セミナー 2 連発 (2 回開催済)

第2弾：課題別/ニーズ別オンラインセミナー配信中

第3弾：戦略事例メルマガ配信中



● 「新型コロナウイルス」等に関する相談窓口の設置

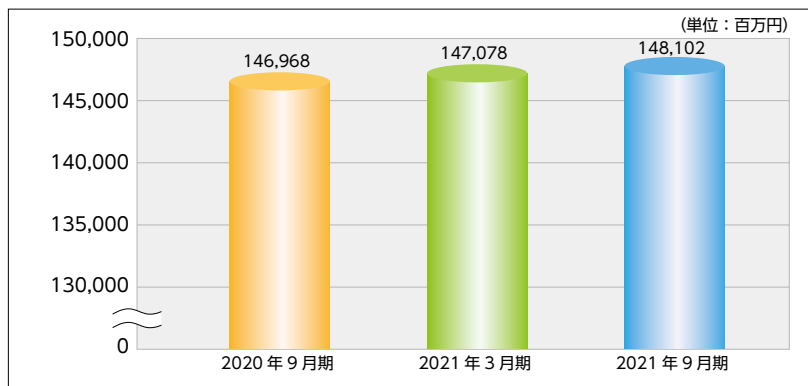
新型コロナウイルス感染症により、経営に影響を受けている事業者の皆さま、個人の皆さまを対象に「新型コロナウイルス等に関するご相談窓口」を設置しております。

1 預金・貸出金の状況

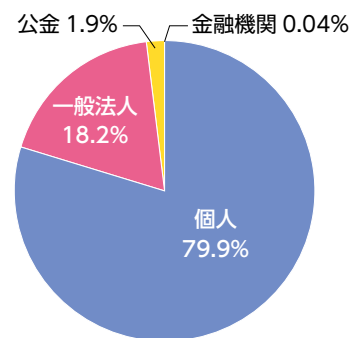
預金積金残高

148,102百万円

2021年9月期の預金積金残高は、2021年3月期より1,023百万円増加し、148,102百万円となりました。



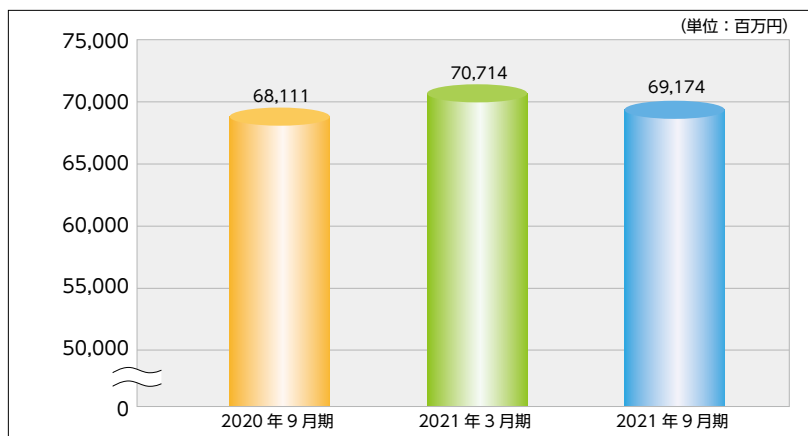
預金者別預金積金残高の構成比



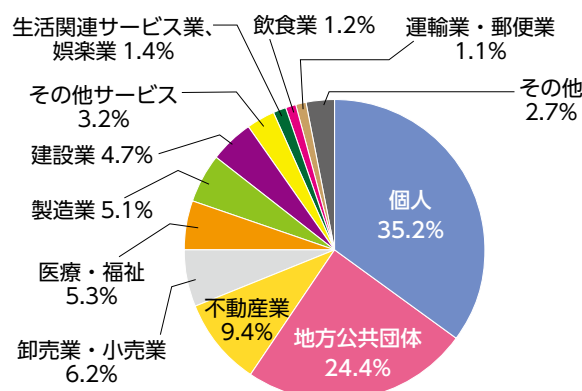
2021年9月期の貸出金残高は、2021年3月期より1,539百万円減少し、69,174百万円となりました。

貸出金残高

69,174百万円



業種別貸出金残高の構成比



2 損益の状況

(単位: 百万円)

| 科目 | 2020年9月期(半期) | 2021年3月期(通期) | 2021年9月期(半期) |
|---------------------|--------------|--------------|--------------|
| 業務純益 | 92 | 186 | 179 |
| 実質業務純益 | 92 | 186 | 186 |
| コア業務純益 | 102 | 253 | 160 |
| コア業務純益(投資信託解約損益を除く) | 71 | 155 | 107 |
| 経常利益 | 115 | 195 | 205 |
| 当期純利益 | 93 | 205 | 176 |

業務純益

179百万円

実質業務純益

186百万円

コア業務純益

160百万円

コア業務純益
(投資信託解約損益を除く)

107百万円

経常利益

205百万円

当期純利益

176百万円

(注) 1. 業務純益 = 業務収益 - (業務費用 - 金銭の信託運用見合費用)
 2. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額
 3. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券関係損益

3 自己資本比率 (国内基準)

自己資本額 **6,884** 百万円

自己資本比率 **11.26%**

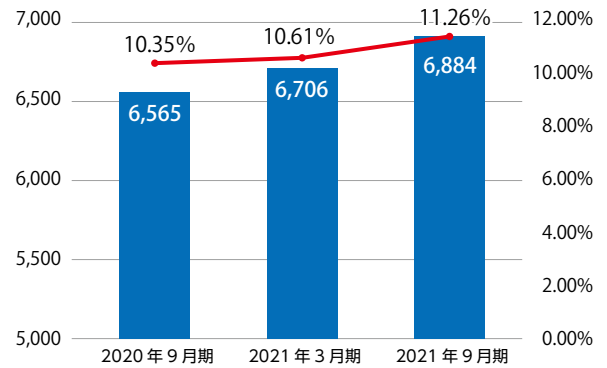
当金庫の2021年9月期の自己資本比率は11.26%と国内基準4%(所要自己資本額で下記のとおり算出)の2.8倍以上であり、経営の健全性・安全性は十分確保しておりますので、皆さまに安心してお取引いただけます。

●自己資本の構成に関する開示事項

(単位:百万円)

| 項目 | 2020年9月期 | 2021年3月期 | 2021年9月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|
| コア資本に係る基礎項目の額(イ) | 6,654 | 6,790 | 6,967 |
| コア資本に係る調整項目の額(ロ) | 89 | 84 | 83 |
| 自己資本の額 [(イ)-(ロ)] (ハ) | 6,565 | 6,706 | 6,884 |
| リスク・アセット等の額の合計額(ニ) | 63,378 | 63,184 | 61,117 |
| 自己資本比率 [(ハ)/(ニ)] | 10.35% | 10.61% | 11.26% |

自己資本額と自己資本比率



●自己資本の充実度に関する事項

- ①「所要自己資本額」は、リスク・アセットに4%を乗じて算出した額です。
- ②「リスク・アセット」とは、自己資本比率を計算する際の分母に用いるもので、『信用リスクアセット(資産額×資産のリスクに応じた掛目)』と、『オペレーショナル・リスク(システム障害や不祥事、事務ミス等により損失を被るリスク)相当額を8%で除した額』の合計を計上しております。

| (単位:百万円) | 2020年9月期 | | 2021年3月期 | | 2021年9月期 | |
|--------------------------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|
| | リスク・アセット | 所要自己資本額 | リスク・アセット | 所要自己資本額 | リスク・アセット | 所要自己資本額 |
| イ.信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計 | 59,961 | 2,398 | 59,725 | 2,389 | 57,658 | 2,306 |
| ロ.オペレーショナル・リスク | 3,417 | 136 | 3,459 | 138 | 3,459 | 138 |
| ハ.単体総所要自己資本額(イ+ロ) | 63,378 | 2,535 | 63,184 | 2,527 | 61,117 | 2,444 |

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫および信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準を採用しております。

4 不良債権比率

不良債権額 **2,577** 百万円

不良債権比率 **3.69%**

●金融再生法による開示債権と保全額

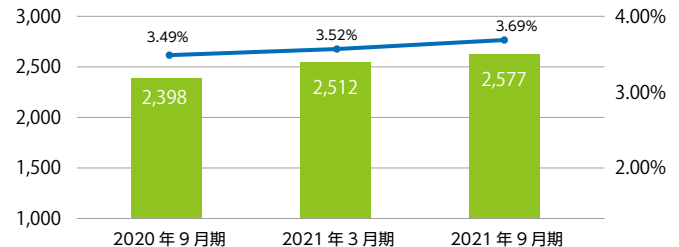
(単位:百万円)

| | 2020年9月期 | 2021年3月期 | 2021年9月期 |
|----------------------------------|----------|----------|----------|
| 金融再生法上の不良債権(A) | 2,398 | 2,512 | 2,577 |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 535 | 547 | 503 |
| 危険債権 | 1,705 | 1,804 | 1,913 |
| 要管理債権 | 157 | 161 | 160 |
| 正常債権 | 66,378 | 68,845 | 67,286 |
| 保全額(B) | 2,383 | 2,481 | 2,543 |
| 貸倒引当金(C) | 999 | 991 | 1,001 |
| 担保・保証等(D) | 1,383 | 1,489 | 1,542 |
| 保全率(B)/(A)(%) | 99.36% | 98.76% | 98.70% |
| 担保・保証等控除後債権に対する引当率(C)/(A)-(D)(%) | 98.48% | 96.96% | 96.77% |

(単位:百万円)

不良債権額と不良債権比率

(単位:%)



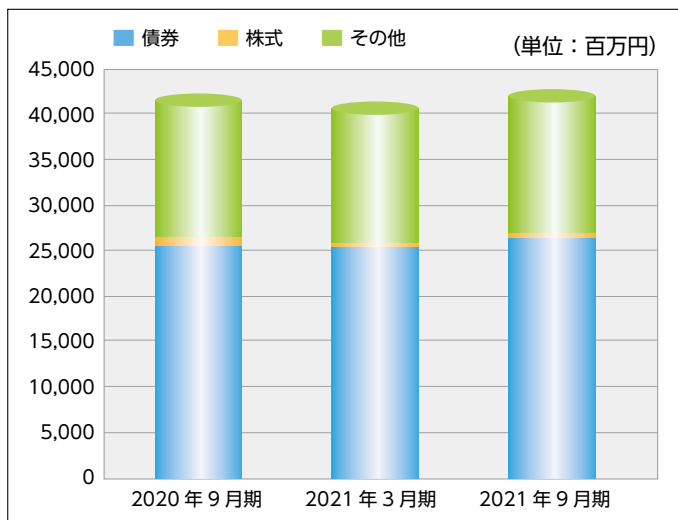
- ①「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産・会社更生・再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
 - ②「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権をいいます。
 - ③「要管理債権」とは、3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権をいいます。
 - ④「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。
- (注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

5 有価証券の状況

I. 運用残高 (貸借対照表計上額)

(単位：百万円)

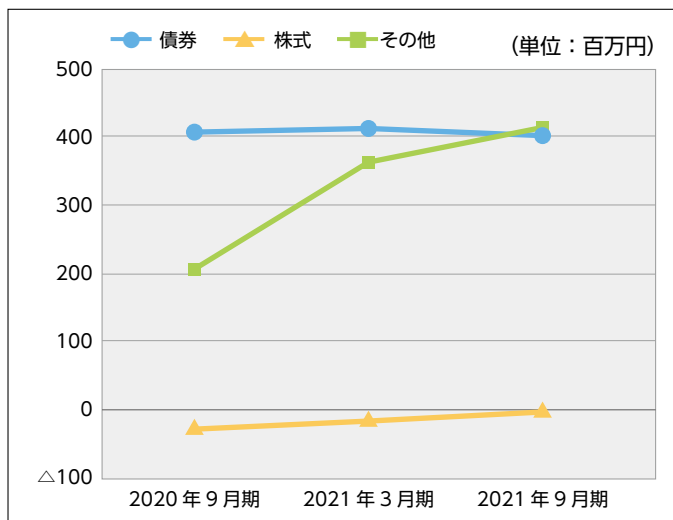
| 種別 | 2020年9月期 | 2021年3月期 | 2021年9月期 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 債券 | 25,314 | 25,114 | 26,803 |
| 株式 | 430 | 259 | 325 |
| その他 | 16,102 | 15,103 | 14,878 |
| 合計 | 41,847 | 40,477 | 42,008 |
| 満期保有目的の債券 | 1,174 | 1,137 | 1,095 |
| その他の有価証券 | 40,672 | 39,339 | 40,912 |



II. 評価損益

(単位：百万円)

| 種別 | 2020年9月期 | 2021年3月期 | 2021年9月期 |
|-----------|----------|----------|----------|
| 債券 | 409 | 415 | 401 |
| 株式 | △28 | △11 | △5 |
| その他 | 216 | 364 | 416 |
| 合計 | 598 | 768 | 812 |
| 満期保有目的の債券 | △0 | 21 | 17 |
| その他の有価証券 | 598 | 746 | 794 |

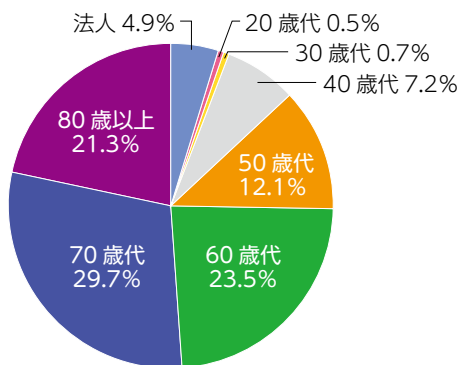


会員向けアンケートの実施結果

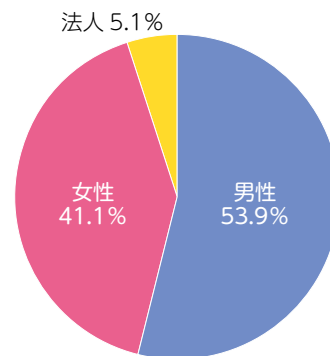
先般、当金庫の出資会員さまにアンケートを実施しました。その結果につきましては、以下のとおりです。

1 ご回答いただいた方

① 年齢 (任意回答)

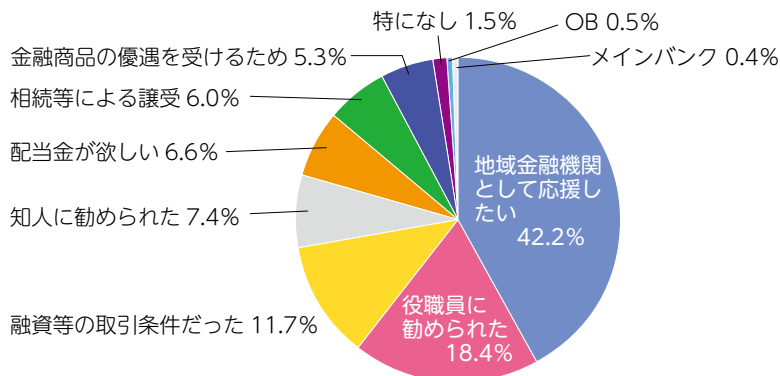


② 性別 (任意回答)



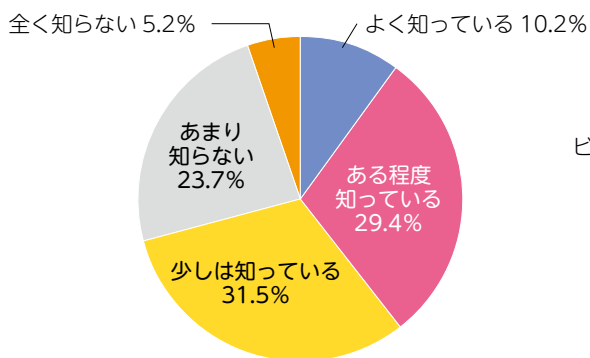
2 回答結果

① 当金庫の会員となっていた理由は何ですか。(複数回答可)

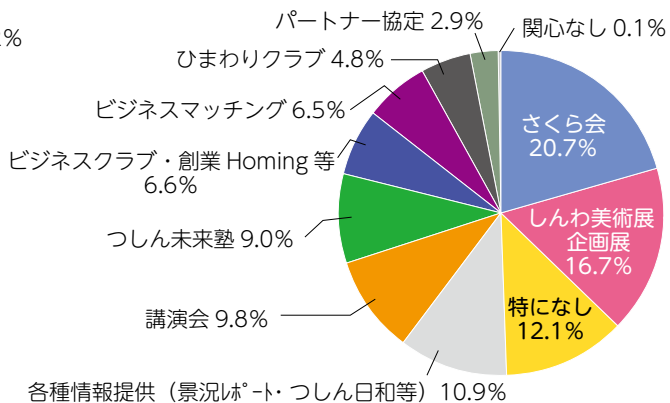


- アンケート対象 2021年3月末時点の会員 11,303名
- 回答数 619件
- 実施方法 第95期業務報告書に同封

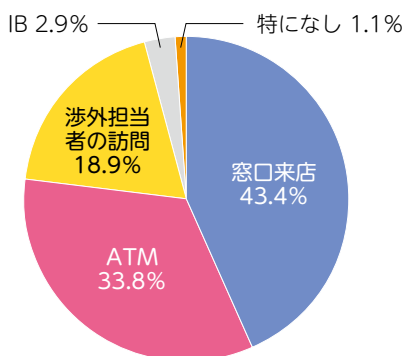
②当金庫の作州地域の活性化に向けた取組内容はご存じですか。



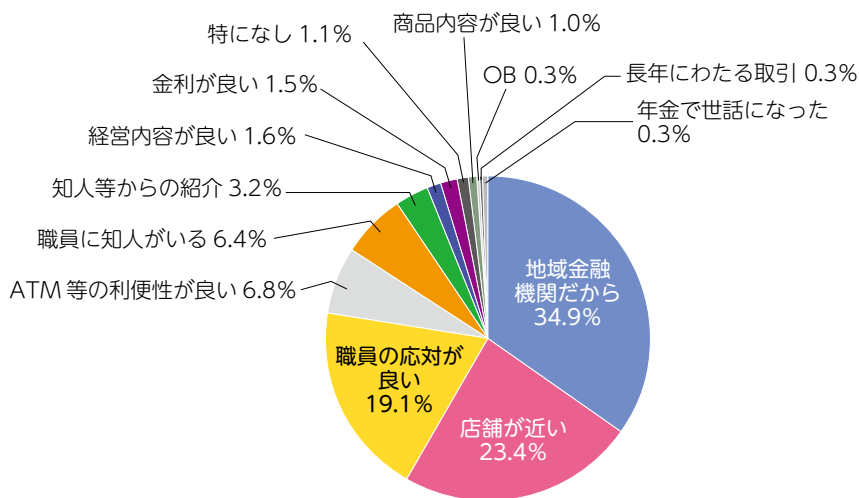
③当金庫の作州地域活性化に向けた取組内容で、関心があるものはなんですか。（複数回答可）



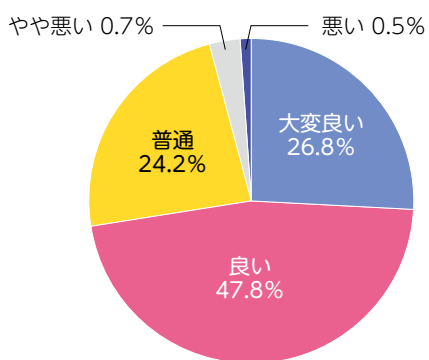
④当金庫とのお取引手段は何ですか。（複数回答可）



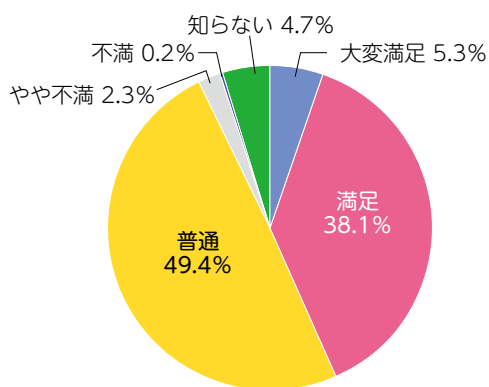
⑤当金庫とのお取引理由は何ですか。（複数回答可）



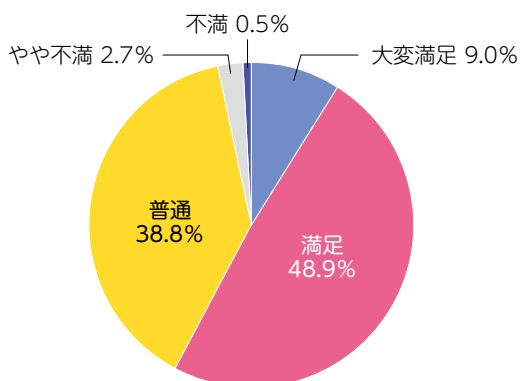
⑥当金庫職員の対応はどうですか。



⑦当金庫の商品内容はどうですか。



⑧当金庫に対する満足度はどうですか。



ご回答いただきましたご意見等につきましては、今後、より良いサービス・商品が提供できるように改善させていただきます。
貴重なご意見ありがとうございました。
この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。



勝山支店新築移転オープン



5月10日より勝山支店が新築・移転オープンしました。新店舗は、建築資材として環境に優しく高性能な地元製造のCLTを使用するなど、真庭市が推進しているSDGsを考慮した建物となっています。なお、CLTでの店舗建築は、信用金庫では全国初のケースとなります。

北・一宮支店リニューアルオープン



7月26日より北・一宮支店の1階店頭営業フロアをお客さまの利便性向上のためリニューアルオープンしました。リニューアルした店舗では、タブレットを使用した営業店窓口支援システムを導入しています。特に新規口座作成や振込等処理の事務が大幅に効率化され、お客さまとの対応時間が十分確保できることから相談対応の充実化を図っています。勝山支店にも新築移転オープンに伴い、タブレットを使用した営業店窓口支援システムを導入しており、現在、勝山支店、北・一宮支店に2台ずつ配置していますが、今年度に全ブロックへの導入を計画しています。



勝山支店、北・一宮支店の店舗紹介動画を当金庫のYouTubeチャンネルでご視聴いただけます！



作州地域の活性化応援信用金庫
作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫
津山信用金庫



URL <http://www.shinkin.co.jp/tsuyama/>
e-mail tsushin@mx1.tiki.ne.jp

〒708-0022 岡山県津山市山下30番地の15 TEL 0868-22-4121 FAX 0868-22-8637